

TTC 提案山行実施記録

2025 年 9 月 23 日 M.H

山行名	硫黄岳・赤岳山行						[2,760m 2,899m/山梨県]	
実施日	2025 年 9 月 6 日（土）～7 日（月） マイカー							
天候／参加人員	天候：晴れ レベル：★★★ 参加者：17 名（男 6 名／女 11 名）							
パーティースタッフ	省略							
参加メンバー	省略							
費用 （1 人当たり） ¥19,250/人 カンパ金¥510	マイカー使用料:@15×350km×3 台=¥15,750、燃料代:@170×(350km/15×1 台+350km/10×2 台)=¥15,867、ドライバ謝礼:@5,000×2 日×3 台=¥30,000、高速道路代:(相模湖 IC→小淵沢 IC@2,050×3 台=¥6,150、小淵沢 IC→圏央厚木 IC@2,890×3 台=¥8,670)、延命の湯(17 名分,割引後トータル):¥10,590、通信費:¥1,000 赤岳鉱泉宿泊費:1 泊 2 食@13,000+個室料@750=¥13,750/人、カンパ金:¥510 以上まとめて、一人当たり:¥19,250/人							
所要時間	-	歩行時間		休憩時間		行動時間		
		9/06	9/07	9/06	9/07	9/06	9/07	
	計画	5:30	6:15	1:25	0:40	6:55	7:55	
	実行*	5:55	6:45	1:30	1:45	7:25	8:40	
実行コースタイム記録								
【1 日目】 本厚木====相模湖 IC===小淵沢 IC===美濃戸口----美濃戸-----赤岳鉱泉-----赤岩ノ頭---硫黄岳----赤岩ノ頭---- 6:00 7:00 8:10 9:10 10:15 12:25-13:15 14:35-45 15:05-15 15:35 赤岳鉱泉(泊) 16:35								
【2 日目】 0:45 1:15(休 0:10) 10' 0:40 0:25 1:30 (休 0:15) 昼食 2:05 (休 20) 赤岳鉱泉----行者小屋-----地藏ノ頭----赤岳天望荘----赤岳----中岳分岐-----行者小屋----- 5:00 起床-6:05 6:50-7:00 8:15 8:25 9:15-30 9:55 11:25-12:00 0:40 ----美濃戸-----美濃戸口=====延命の湯====小淵沢 IC====都留インター=====本厚木 14:05 14:45 15:00-15:50 16:50 19:30								
コースの概要、特記事項、反省事項等								
[コース概要] ●17 名の配車計画は難しく紆余曲折があったが、ドライバーの方に何とか調整をしていただくことができた。 ●本来は美濃戸（赤岳山荘）まで車で行く予定だったが、美濃戸の駐車場が満車と判断して、手前の美濃戸口に駐車した。このため歩行時間が 1 時間近く増え、テント泊の 4 人にとってはかなりきつくなってしまった。しかし、美濃戸までの道は 4WD が推奨されている通りとても荒れていることが確認できたので、普通車の我々は手前で駐車して正解だった。このため初日の累積標高は 1300 メートルを超えてしまった。 ●天気に恵まれ、真っ青な青空に生える硫黄岳、赤岳を仰ぎ見ることができた。赤岳から仰ぎ見た富士山は格別だった。八ヶ岳の山々の素晴らしい景色を望むことができた。 ●17 名という大所帯で、不安を抱いてのスタートだったが、全員で赤岳の頂上に立てたことは感激だった。参加者それぞれが、自分の持てる力を精一杯発揮した結果が実を結んだと言える。危険な岩場やはしごもたくさんあったが、誰も転倒することがなかったのは奇跡的だと感じた。 ●赤岳鉱泉には 1 度は泊まってみたいと思っていた。夕飯のステーキ、朝食の厚みのあるサケを堪能することができて満足した。以前は「赤だらけ鉱泉」という噂もあったが、8 月に風呂場をリニューアルされたとのことで、清潔でかけ流しのような温泉だったので大満足だった。山小屋に温泉があることの幸せを痛感した。 ●テント泊の方にも宿の談話室（ベランダ）に集まっていただき、K・O さんからストレッチの手ほどきを受け、全身がすっきりした後に就寝できたことがありがたかった。 ●八ヶ岳の特徴である、苔の林の美しさと針葉樹林のかぐわしい香りを味わいながらの登山は、時間は長かったが、癒された。								